

令和6年度（2024年度）

管理事業名	博物館事業				総合計画 の体系	大綱	7	都市魅力		
						政策	2	文化・スポーツに親しめるまちづくり		
						施策	2	文化財の保存と活用		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	10	教育費	(項)	5	社会教育費	(目)	8	博物館費
部局名	地域教育部	予算執行 所属	文化財保護課							
事業の目的と概要										
・地域の歴史・文化に関する歴史資料等を調査研究し、必要に応じて資料を収集・保管し、良好な状態で次世代に継承していく。また、その成果を様々な展示や講演会等の普及活動、刊行物等により発信することで市民主体の生涯学習活動を支援し、地域の歴史・文化を発見、見直し、創造していく。 ・市民が集い、多様な体験を生かしながら主体的に博物館活動に参加することで、様々な連携を深め、市民生活を豊かな潤いのあるものとする。										

I 成果指標（活動指標）

指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指 標 の 定 義
特別展等回数	回	5	6	6	特別展や企画展などの年間開催回数
刊行物数	数	7	7	7	調査研究活動を公表する刊行物数
収蔵資料数	点	33,229	40,820	41,528	良好な状態で保管している館蔵資料の数

II 活動実績・成果

【成果指標1】 特別展等回数についての評価 ・令和6年度は特別展や企画展を6回開催し、それぞれのテーマに関連する講演会・講座等を延べ77回実施し、うち26回は子供・親子を対象とした。 ・博物館ホームページで展覧会の見どころを掲載し、来館を促す工夫を行った。各展覧会での来館者アンケートでは「とてもよかった・よかった」の評価が9割で、展示内容に対する満足度は高かった。	【その他の活動実績・成果】 ・学校教育との連携では、小学校3年生の社会科単元に連動した「むかしのくらしと学校」展を開催し、22校の小学校団体見学があった（令和5年度は24校）。利用した教員からは「体験によって学びが深まった」という意見が多くあった。また、職業体験の受入れや学芸員の派遣による出前授業などを通じた学習支援を進めるとともに、教育センター教育支援教室の児童・生徒の居場所づくりを行った。 ・博物館協議会を開催し、事業の実績や計画を報告するとともに、当協議会委員による外部評価を受け、運営の改善や事業の水準の維持向上に努めた。また、令和7年度（2025年度）から令和11年度（2029年度）までの5年間にとりわけ重きを置いて取り組むべき重点項目と、博物館の基本的な活動、事業評価について記載した第4次中期計画を策定した。
【成果指標2】 刊行物数についての評価 ・調査研究の成果を、展示図録、博物館だより、博物館館報等を刊行し、公表した。	【財務情報に基づいた評価】 ・コロナ禍を過ぎ、他機関との連携が取れるようになってきたことから、出前展示等の活動や無料観覧日の実施が増え、年間利用者数が増加した。それにより、利用者1人当たりコストは、令和5年度に比べてやや減少した。
【成果指標3】 収蔵資料数についての評価 ・館蔵資料数は前年度から708点増加し、吹田の歴史を明らかにする資料として新たに収蔵できた。また、適正な保管環境を維持するため、収蔵庫燻蒸（3年に1回）を実施し、新規収蔵資料に対しても燻蒸によって殺虫・殺卵・殺力ヒ処理を行った。 ・博物館所蔵資料データベースに18,824点を登録してホームページ上に公開し、所蔵資料の情報発信をすることで活用の促進を図った。	

III 課題と今後の取組

令和8～12年度の間に実施予定の大規模修繕に合わせ、常設展示を最新の学術的知見を反映した展示内容にするとともに、市民が楽しみながら学べる展示手法を取り入れたリニューアルを実施できるよう、市民ニーズ調査を実施し、分析結果を基に展示やイベントの企画・運営を計画する。 調査研究、収集、公開といった博物館に求められる機能を十分に発揮するため、資料のデジタル化の推進等に努める。	さらに、数多く所蔵している西村公朝氏の作品の公開・活用や、博物館資料データベースを充実させるなど、更なるデジタル化の推進等を通じ、より魅力的な博物館となるよう取組を進める。 そのほか、増加する博物館資料の収蔵施設確保が課題であり、対策を検討の上、資料の収集・保存方針を策定する。
--	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和5年度末 A	令和6年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和5年度末 A	令和6年度末 B	差額 B-A
流動資産				流動負債	5,372	5,764	392
現金預金	-	-	-	地方債	-	-	-
未収金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	5,372	5,764	392
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
固定資産				固定負債	48,194	49,101	907
有形固定資産	1,264,334	1,194,602	△69,733	地方債	-	-	-
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	1,264,334	1,194,602	△69,733	退職手当引当金	48,194	49,101	907
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	297	297	-	負債の部合計	53,566	54,865	1,299
有形固定資産	-	-	-	純資産	1,217,193	1,146,033	△71,160
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	48,194	49,101	907
重要物品	6,128	6,000	△128	リース債務	-	-	-
図書館資料	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部合計	1,270,759	1,200,898	△69,861
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	1,270,759	1,200,898	△69,861				

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和4年度	令和5年度 A	令和6年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	711	677	665	△12
国庫支出金（経常費用充当）	-	-	-	-
府支出金（経常費用充当）	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	669	600	532	△68
経常収入 小計 (a)	1,379	1,277	1,197	△80
経常費用				
給与関係費	63,470	71,543	75,469	3,926
物件費	66,813	79,743	80,932	1,189
維持補修費	16,769	1,523	1,412	△111
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	938	843	778	△65
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	68,438	69,989	69,861	△128
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	4,520	5,372	5,764	392
退職手当引当金繰入額	9,580	9,913	4,902	△5,010
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計 (b)	230,528	238,927	239,119	192
経常収支差額 (a)-(b)=(c)	△229,149	△237,650	△237,922	△272
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計 (d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計 (e)	-	-	-	-
特別収支差額 (d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額 (g)	-	-	-	-
当期収支差額 (c)+(f)+(g)	△229,149	△237,650	△237,922	△272
一般財源充当額	226,214	159,380	166,762	7,382
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△2,935	△78,270	△71,160	7,110

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和4年度	令和5年度 A	令和6年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	1,379	1,277	1,197	△80
行政サービス活動支出	155,078	160,657	167,959	7,302
行政サービス活動収支差額	△153,699	△159,380	△166,762	△7,382
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	72,515	-	-	-
投資活動収支差額	△72,515	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△226,214	△159,380	△166,762	△7,382
一般財源充当額	226,214	159,380	166,762	7,382
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 建物・工作物	減価償却による資産の減
【CF】 行政サービス活動収支差額	使用料収入等はほぼ横ばいであるのに対し、人件費、物価上昇による活動支出の増により収支差額が悪化

単位当たりのコスト分析（「経常費用 小計(b)」÷「実績」）

単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者1人	コスト 15,727 円 実績 14,658 円	コスト 14,604 円 実績 16,360 円	コスト 12,259 円 実績 19,506 円
開館日1日	コスト 800,444 円 実績 288 日	コスト 818,243 円 実績 292 日	コスト 827,401 円 実績 289 日

分析内容
コロナ禍を過ぎ、他機関との連携が取れるようになってきたことから、出前展示等の活動や無料観覧日の実施が増え、年間利用者数が増加した。それにより、利用者1人当たりコストは令和5年度に比べてやや減少した。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	74,074	3,712	7.99
会計年度任用等	8,344		
特別職非常勤	3,718		
合計	86,136		

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和4年度	令和5年度 A	令和6年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		56.6	58.9	61.2	2.3
施設維持補修費比率		0.5	0.0	0.0	0.0
経常費用対公共資産比率		7.5	7.8	7.8	0.0
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		0.3	0.3	0.3	0.0
一般財源充当比率		99.4	99.2	99.3	0.1